

Embryo Transfer

E.T(受精卵移植)技術の先進国北米で研修

世界に通じる

「肥後牛づくり」を。

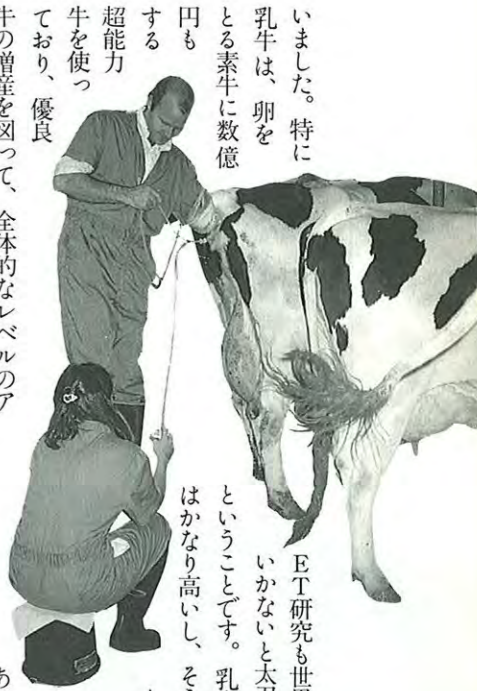


後藤孝一さん(四十五才)「プロフィール」  
阿蘇郡一の宮町出身  
日大獣医学科  
熊本県畜産試験場 主任研究員

技術のおさらいと関連技術の修得が待っていました。ここでは、着いた翌日からスケジュールがびっしり組まれ、毎日各分野の博士たちにマンツーマンで研修を受けました。また、大学の牧場では、学生といっしょに講義を受け、牛ばかりではなく馬やねずみのE.Tもやりました。最後の十日間は、E.Tのトップ企業や農家を実際にE.Tを行っているところも見ましたが、とにかく向こうは家畜頭数が多い。日本は約二百万頭、アメリカは約一億二千万頭。牛の種類も日本は赤と黒だけなのにアメリカは三十種類もあって、いろんな牛のかけ合わせで発育が早く、生産性の高い牛づくりが行われて

私は今、県畜産試験場で牛の受精卵移植(E.T)の研究をしています。近年バイオテクノロジーが注目され、社会的にも関心が高まっていますが、当試験場でも昨年七月、西日本初のコピー牛(分割受精卵牛)が誕生しました。県では、昭和五十七年度からE.T技術の実用化を進め、一応の成果を収めてきました。さらにE.T先進国である北米の技術導入を図るため、昨年の九月から約一ヶ月間の研修に私が派遣されました。現地に着くとさっそく、世界的にE.T技術のリーダーシップをとっているコ罗拉ド州立大学のサイデル博士のE.T研究所で二十日間の基礎

いました。特に乳牛は、卵をとる素牛に数億円も超能力牛を使っておき、優良牛の増産を図って、全体的なレベルのアップに努めていました。またオス、メスの生み分けによる計画生産等、E.Tの多角的な利用の実績にも、目を見張るものがあります。今回の研修で感じたことは、北米と日本では環境条件が違い、全て真似をするというわけにはいきませんが、北米方式も十分検討し利用していく必要があるということです。



E.T研究も世界を見ながらやっていると、いかにと太刀打ちできなくなるという事です。乳牛でも北米のレベルはかなり高いし、そういう所から卵がどんどん入ってくるようになったらどうなるのか。このような競争の時代にあって、我々E.Tプロジェクトチームは、今とても重要な時期にあると思います。公務員の私がこう言っちゃ叱られるかもしれませんが、普及実用化のためには少しは枠をはみ出しても、価値の高い牛の生産に励んでみたいと思います。



県立美術館

電話 〇九六一三五二二二二



油彩五十七点、オブジェ三十八点によるヨーロッパ絵画史。

テッサン・レクシモン

一六〇一八世紀栄光のヨーロッパ名画展  
二月十五日(土)〜三月十六日(日)  
フリユエゲル、エル・グレコ、レンブラント、ルーベンスなど十六世紀から十八世紀までのヨーロッパ絵画の流れを油彩五十七点、オブジェ三十八点によりご紹介します。

県立美術館収蔵品展

第二期 肥後の近世絵画・現代絵画  
一月五日(日)〜二月十六日(日)  
第三期 肥後の中世美術・西洋の近世版画  
二月二十二日(土)〜三月三十日(日)  
県教職員文化展  
二月二十八日(火)〜二月二日(日)  
全国郵政美術展  
二月四日(火)〜九日(日)

県立劇場

電話 〇九六一三六三二二三三

日本の美。ふるさとのこころ。新春恒例の伝統芸能。



●二月九日(日) 演劇ホール(正午) 県能楽協議会による恒例の能と舞囃子の公演です。今回は、宝生流「巴」と親世流「鶴鶴」の能。また、舞囃子は、新春にふさわしく金春流の「高砂」、喜多流の「湯谷」などが披露されます。

第三回 熊本「能」

文楽

●三月十八日(火) 演劇ホール(昼の部午後二時、夜の部午後六時三十分)  
●三月二十日(木) 演劇ホール(午後六時三十分)  
松山バレエ団「白鳥の湖」

県立総合体育館

電話 〇九六一三五六一二二三三

●一月十八日(土) ザ・スコラズ演奏会  
●二月二十二日(水) 日本フィル九州、86  
●三月九日(日) N T T N響コンサート  
●二月二十六日(水) 演劇ホール  
●一月十九日(日) 第十五回香雲堂吟詠会  
●一月十九日(日) 熊本子ども劇場  
●二月一日(土) 低学年例会  
●二月一日(土) オズの国は魔法の国(劇団飛行船)  
●二月四日(火) (まつ座)第五回公演「国語元年」  
●二月十三日(木) 全日本選抜レジャー日本リーグ大会  
●一月二十九日(水) 三十一日(金) 九州高校選抜ソフトボール大会  
●二月一日(土) 西部地区社会人バドミントン大会  
●二月二日(日) バスケットボール日本リーグ  
●二月九日(日) <スポーツ教室>  
「エアロビクス教室」  
【対象者】二十歳〜三十歳の女性  
【実施内容】軽スポーツやエアロビクス運動で、体力づくりや減量をめざす。  
【申込期間】一月二十七日〜二月八日  
【入場料】四十人  
【参加費】二千五百円  
【実施期間】二月十四日〜二月十七日(全十日間)

県立運動公園

電話 〇九六一三八〇一七五九九

●二月十一日(祝) ウインブルドン県予選大会  
●二月十一日(祝) 九州学生新進テニス トーナメント(硬式)  
●三月五日(水) 九日(日) 第二回熊本県知事杯テニス大会  
●三月二十一日(祝) 第二回全九州高校新人ラグビーフットボール県予選及び第八回 R K Kカップラグビー大会  
●一月十八日(土) 第十九日(日) 第二十回県サッカーリーグ  
●一月十九日(日) 二月九日、十六日、二十三日、(いずれも曜日) 第十一回県総合サッカー選手権大会  
●三月九日(土) 二十三日(日) R K K 女子駅伝大会  
●二月十一日(祝) 第三十八回紳士駅伝大会  
●三月八日(土)

県立図書館

電話 〇九六一三八四一五〇〇〇

「日本談義展」  
●三月三十一日(月) まで  
●場所/熊本近代文学館  
「日本談義」は、昭和十三年五月、熊本で発行され、話題を呼んだユニークな文化雑誌で、昭和五十七年四月の終刊号までその存在は、全国的な注目を集めてきました。会場では、壁面パネルによる「日本談義」の歩みを紹介するほか、海老原喜之助、棟方志功、堅山南風ら日本屈指の画伯による表紙原画を展示しています。